

令和6年度 山形県立楯岡特別支援学校

校長室だより

令和7年3月11日(火)

No.7

校長: 古原 常 能

令和7年度からの学校教育目標について

現在、山形県教育局では、「第7次山形県教育振興計画」(案)について、県民からのパブリックコメントを募集しています。10年ぶりの改訂となる本計画のキーワードには、「ウェルビーイングを目指す」「挑戦(チャレンジ)している」「地域や社会で色々な人と交流する」等が挙げられます。

そこで、令和7年度からの学校教育目標は、本計画を踏まえ次のように変更します。

「げんき」に生活し「チャレンジ」と「かかわり」を楽しむ人を育てる

そして、めざす児童生徒像については、次の3つに変更します。

- 明るい気持ちで、元気に活動する人 【げんき】
- 自ら考え、進んでチャレンジする人 【チャレンジ】
- 仲間と協力し、色々な他者と関わる人 【かかわり】

4月から、子供たちと教職員の合言葉は、「げんき」「チャレンジ」「かかわり」となります。このほか、学校経営の方針や重点等は、令和7年度のPTA総会でお知らせします。



御理解と御協力に心から感謝いたします！

4月に楯岡特別支援学校の校長を拝命したことが、つい昨日のように思えます。令和6年度に本校、寒河江校、大江校に在籍する全ての子供たちが、力を伸ばし成長するため、安心かつ楽しみの多い学校生活を送るため、教職員一丸となって学校運営に取り組んできました。

学校現場における働き方改革と教育の充実を両立させる必要もあり、毎週短縮日課を導入すること、運動会やスポーツ大会、学習発表会、PTA親子行事を学部単位で行うことなど、昨年度と異なる様々な取り組みを行ってきました(大江校は来年度から短縮日課を導入する予定です)。特に、本校保護者の皆様は戸惑う面があったと思いますが、前向きなご意見を頂戴し、御理解と御協力をいただきました。そして、学校評価アンケートの多くの項目において、保護者の皆様から良い評価を得ることができました。これからも、本校、寒河江校、大江校の取り組みの成果を継続し、課題になる部分を改善しながら楯岡特別支援学校の教育を充実させて参ります。

最後に、学校評価の項目で「学校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている」の評価が、他の項目に比べて低迷しています。定期的に学級通信や学部だより等でお知らせし、学校のホームページも更新してきました。特徴的な取り組みは、新聞やテレビでも報道していただきました。来年度は、情報発信の状況をマ・メールでお知らせすることを考えておりますが、この他に具体的な改善策があれば、担任の先生や教頭先生を通してお知らせください。